

矢別ダム of 洪水調節

□ 矢別ダムの洪水調節方法は、2門ある洪水吐きのゲート開度を一定(80センチメートル)に保ち洪水時のダムからの放流量を制御する「一定開度調節方式」を採用しています。この方式では、通常時はゲート開度を一定にしておくためゲート操作の必要はありませんが、想定以上(矢別ダムの場合は50年に1回起きる洪水よりも大きい洪水)の洪水が発生すると予想されるときにはゲートを開きます。この操作を「ただし書き操作」といいます。

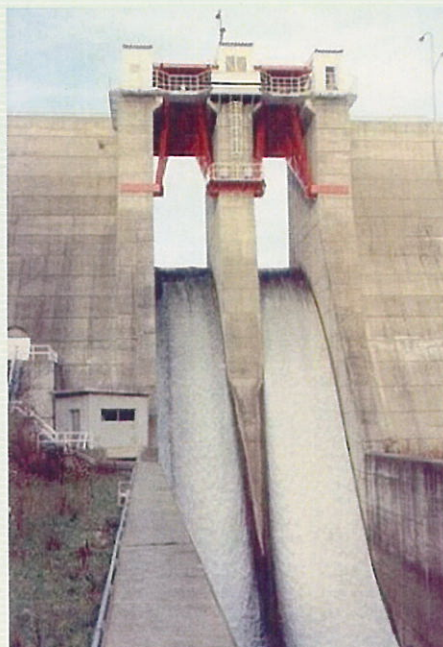
メモ

□ ただし書き操作

水調節を行うダムのうち洪水調節用ゲートを備えたダムの洪水時における具体的な操作方法はダムごとの操作規則により定められています。計画に想定された規模以上の洪水(「超過洪水」)の発生が予想される場合には、安全上許容される最高の水位に達した状態でも洪水が安全に放流できるよう特別な放流操作が行われます。なお、このような操作を行うための要件は、各ダムの操作規則において通常、「ただし、気象、水象その他の状況により特に必要と認める場合」として規定されています。そのため一般に「ただし書き操作」と呼ばれています。



一定開度80cmのラジアルゲート



最大開度544cmのラジアルゲート